

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公開番号】特開 2014-13543 (P2014-13543A)

【公開日】平成 26 年 1 月 23 日 (2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報 2014-004

【出願番号】特願 2012-151365 (P2012-151365)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 6 F 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/21 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/24 1 6 0 B

G 0 6 F 3/12 K

G 0 6 F 1/00 3 7 0 E

H 0 4 N 1/21

B 4 1 J 29/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 6 日 (2015.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

上記目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、不揮発性記憶装置に記憶されたデータを予め定められたデータで上書きする上書き消去機能と、揮発性記憶装置に記憶されたデータを前記不揮発性記憶装置に記憶させるハイパネーション機能とを備えた情報処理装置であって、前記上書き消去機能を有効に設定するための指示及び前記ハイパネーション機能を有効に設定するための指示を入力する入力手段と、前記入力手段が前記上書き消去機能及び前記ハイパネーション機能のうちの一方の機能を有効とする指示を入力した場合に、他方の機能が有効に設定されているときは、いずれか一方の機能だけを有効とする設定を行う設定手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

不揮発性記憶装置に記憶されたデータを予め定められたデータで上書きする上書き消去機能と、揮発性記憶装置に記憶されたデータを前記不揮発性記憶装置に記憶させるハイパネーション機能とを備えた情報処理装置であって、

前記上書き消去機能を有効に設定するための指示及び前記ハイパネーション機能を有効に設定するための指示を入力する入力手段と、

前記入力手段が前記上書き消去機能及び前記ハイパネーション機能のうちの一方の機能

を有効とする指示をした場合に、他方の機能が有効に設定されているときは、いずれか一方の機能だけを有効とする設定を行う設定手段と

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、前記入力手段が前記上書き消去機能及び前記ハイパネーション機能のうちの一方の機能を有効とする指示をした場合に、他方の機能が有効に設定されているときは、前記一方の機能を有効に設定することを禁止するか、前記他方の機能を無効に設定し前記一方の機能を有効に設定することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記ユーザに情報を表示する表示手段と、

前記上書き消去機能及び前記ハイパネーション機能のうちの一方の機能が有効の場合には、他方の機能を設定できないことを表示するように前記表示手段を制御する表示制御手段と

を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記上書き消去機能が有効に設定され、前記ハイパネーション機能が無効に設定されている場合には、前記ハイパネーション機能を用いることなく前記情報処理装置の消費電力を低減させることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記ハイパネーション機能が有効に設定されており、当該ハイパネーション機能により前記不揮発性記憶装置に記憶されたデータを用いて前記情報処理装置が起動した場合には、前記ハイパネーション機能により前記不揮発性記憶装置に記憶された前記データを前記上書き消去機能により消去することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

不揮発性記憶装置に記憶されたデータを予め定められたデータで上書きする上書き消去機能と、揮発性記憶装置に記憶されたデータで前記不揮発性記憶装置に記憶させるハイパネーション機能とを備えた情報処理装置の制御方法であって、

前記上書き消去機能を有効に設定するための指示及び前記ハイパネーション機能を有効に設定するための指示をする入力ステップと、

前記入力ステップにおいて、前記上書き消去機能及び前記ハイパネーション機能のうちの一方の機能を有効とする指示をした場合に、他方の機能が有効に設定されているときは、いずれか一方の機能だけを有効とする設定を行う設定ステップと

を備えたことを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 7】

不揮発性記憶装置に記憶されたデータを予め定められたデータで上書きする上書き消去機能と、揮発性記憶装置に記憶されたデータで前記不揮発性記憶装置に記憶させるハイパネーション機能とを備えた情報処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記情報処理装置の制御方法は、

前記上書き消去機能を有効に設定するための指示及び前記ハイパネーション機能を有効に設定するための指示をする入力ステップと、

前記入力ステップにおいて、前記上書き消去機能及び前記ハイパネーション機能のうちの一方の機能を有効とする指示をした場合に、他方の機能が有効に設定されているときは、いずれか一方の機能だけを有効とする設定を行う設定ステップと

を備えたことを特徴とするプログラム。